

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所
発達生理学研究系生殖・内分泌系発達機構研究部門助教・特任助教公募

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所では、下記の要領で発達生理学研究系生殖・内分泌系発達機構研究部門の助教及び特任助教を公募します。適任者の推薦、希望者への周知をよろしくお願いします。

記

1 職種及び人数：助教及び特任助教 各 1 名

所属：生理学研究所 発達生理学研究系

生殖・内分泌系発達機構研究部門（箕越靖彦教授）

2 職務内容：生体エネルギー代謝の調節が、脳を中心とした各臓器・組織間の相互作用によって達成されるとの観点に立ち、作用伝達物質であるレプチンやインスリンなどのホルモン、並びに自律神経系の働きを分子レベルで明らかにすることによって、摂食行動及びエネルギー消費調節機構の解明を目指す。

助教：動物個体、特にマウスを用いた研究に精通し、且つ分子生物学、生化学的研究手法に習熟していることが望ましい。また、大学院生の指導を行う。

特任助教：分子生物学、生化学的研究手法に精通し、且つ動物個体、特にマウスを用いた研究の経験があることが望ましい。

3 応募資格：博士の学位を有するか、それに相当する研究実績を有する者。

4 雇用期間：

助教：5 年。ただし、任期更新可。（大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所研究職員の「任期に関する規則」による。同規則等の内容は、ホームページ <http://www.nips.ac.jp/> を参照ください。）

特任助教：年度毎の更新で最長 5 年まで。

5 提出書類：

- (1) 希望職種を記載した文章（助教、特任助教の何れか、または両職種に応募することを記載）
- (2) 履歴書
- (3) 論文リスト（全著者名、論文題目、雑誌名、巻数ページ（始めと終わりのページ）、

発行年を記入すること、審査のある原著論文と総説・著書などは分けて記入すること、印刷中論文は含むが、投稿済み論文及び準備中論文は含めない。）

- (4) これまでの研究概要と志望の動機
- (5) 主要論文 5 編以内の別刷各 2 部（コピー可）
- (6) 推薦書（1 通以上）、照会先（1 件以上）

＊原則として、提出書類の返却はしません。

6 公募締切：平成 23 年 10 月 31 日（月）必着

7 赴任時期：できる限り早期を希望する。

8 その他：

- (1) 生理学研究所は、男女雇用均等法を遵守し、男女共同参画に取り組んでいます。
- (2) 産前産後休暇・育児休業又は介護休業を取得した場合は、履歴書等にその期間を明記してください。

9 送付先及び問い合わせ先

(1) 送付先

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 番地

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

岡崎総合事務センター 総務部総務課人事係

（「生殖・内分泌系発達機構研究部門助教・特任助教公募書類在中」と朱書きして、簡易書留で送付すること。）

(2) 問い合わせ先

（給与等処遇に関すること）

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38 番地

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

岡崎総合事務センター 総務部総務課人事係

電話：0564-55-7113

（研究内容等に関すること）

〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山 5-1 山手 3 号館 2 階

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所

発達生理学研究系 生殖・内分泌系発達機構研究部門 教授 箕越靖彦

電話：0564-59-5560

e-mail: minokosh@nips.ac.jp

生理研ホームページ：http://www.nips.ac.jp/contents/recruit/